

ワクチンを受けましょう



新型コロナウイルス感染症の影響で、ワクチンの接種率が低下していて、麻疹等の感染症の流行が心配されています。小児科学会も、「予防接種についても、感染症にかかる前に接種することが極めて重要です」「予防接種を回避するデメリットは大きいと考えられます」と言っています。決まった年齢を過ぎると有料になってしまうこともあり、母子手帳を確認して打ちそびれているワクチンは早めに接種しましょう。また、高齢者の肺炎球菌ワクチンも、65才以上でまだ受けてない方や、前回の接種から5年以上経っている方も打つことをお勧めします。

※ワクチンについてご不明な方は、北病院・各診療所にお問い合わせ下さい。



あじま診療所 所長 森 英一